



☆平成24年度がん連協 総会・交流茶話会を開催しました

平成24年6月9日（土）、群馬会館において平成24年度群馬県がん患者団体連絡協議会総会と交流茶話会を開催しました。この日は、群馬大学主催の市民講座も開催され、雨の中、多くの関係者が集まりました。

総会は午後1時に開始しました。本田会長のあいさつです。「がん連協も発足以来5年が過ぎました。各機関のサポートに感謝します。昨年度は初めて群馬県との共催によるがん患者作品展に参加し、好評を得ました。また、群馬県立がんセンターに緩和ケア病棟ができることで、病院関係者の方々と意見交換会を行いました。また、ポピーの会が解散し、協議会を脱退されたので寂しく思っていたところ、新しいふたつの仲間が増えることになり、うれしく思っています。これからも力を合わせて活動に取り組みしましょう」という主旨の話があり、続けて顧問の二渡先生からもあいさつをいただきました。

平成23年度の活動報告、収支決算、監査報告と平成24年度の活動計画と予算について審議され、承認されました。会員からの意見では、キャンペーン活動を毎年継続しているが、その効果はいかがかという質問があり、「キャンペーンを実施し、すぐに受診率がアップすることにはなかなか結びつかないかもしれないが、1000人フラという多くの県民が集まる会場でがん検診受診を訴えることは意義があり、また、がん患者ミーティングという患者会の企画・立案による手作りの会は患者が中心となり、リレートークや茶話会など交流を深める場ともなっている」と運営委員から説明があり、また今後の案として、北関東3県の持ち回りによるリレーフォーライフの開催についても検討したいという話が出ました。

また、新会員の加入がありました。「ガン（生活習慣病）からの回復を望むあなたの会」、「群馬大学重粒子線医学センター友の会」のふたつの会が、がん連協に仲間入りしました。この日はガンからの回復を望むあなたの会の代表、関口さんがあいさつし、大きな拍手をもって歓迎の気持ちを表しました。

市民講座の後は恒例の交流茶話会です。70名の参加がありました。お茶を飲みながら各テーブルごとに自己紹介やおしゃべりが始まりました。市民講座で特別講演「キレイになって外に出よう!」講師を務めた美容ジャーナリストでご自身も乳がんの体験をした山崎多賀子先生も茶話会に参加され、改めてご自身の経験から得たものや心について、明るくお話してくれました。

参加者の中には先生の著作や記事に励まされたという方も多くいて、記念撮影をする方、またはメイクについて尋ねる方など大人気。メイクの実演をされた方はとても生き生きと、笑顔になっていたことが印象的でした。メイクがもたらす不思議な力を感じます。外は梅雨空でしたが、茶話会の会場は、明るい声があちこちから聞こえてきました。これからは患者会、医療機関、行政の皆さんと交流を深める機会を持てるよう、企画していきます。



茶話会会場に用意した席はすぐに満席になり、他のスペースからイスを持ち込むほどにぎわいました。



☆がん対策推進基本計画が変更されました ー ①

平成24年6月8日に「がん対策推進基本計画」が閣議決定され、がん対策基本計画が変更されました。この基本計画は、がん対策基本法に基づき政府が策定するものです。この度、前基本計画の策定から5年が経過し、新たな課題も明らかになったことから、見直しを行い、平成24年度から28年度までの5年間を対象としてがん対策推進に関する基本的な方向を明らかにするものです。「がん患者を含む国民が、がんを知り、がんと向き合い、がんに負けることのない社会」を目指します。

【基本方針】

- がん患者を含めた国民の視点に立ったがん対策の実施
- 重点的に取り組むべき課題を定めた総合的かつ計画的ながん対策の実施
- 目標とその達成時期の考え方

【重点的に取り組むべき課題】

1. 放射線療法、化学療法、手術療法の更なる充実とこれらを専門に行う医療従事者の育成
(がん医療を専門的に行う医療従事者を養成し、チーム医療を推進し、放射線療法、化学療法、手術療法やこれらを組み合わせた集学的治療の室の向上を図る)
2. がんと診断された時からの緩和ケアの推進
(がん医療に携わる医療従事者への研修や緩和ケアチームなどの機能強化等により、がんと診断された時から患者と家族が精神心理的苦痛に対する心のケアを含めた全人的な緩和ケアを受けられるよう緩和ケアを受けられるよう緩和ケアの提供体制をより充実させる)
3. がん登録の推進
(法的位置づけの検討も含めて、がん登録を円滑に推進するための体制整備を図る)
4. 働く世代や小児へのがん対策の充実
(我が国で死亡率が上昇している女性のがんへの対策、就労に関する問題への対応、働く世代の検診受診率の向上、小児がん対策等への取組を推進する)

【全体目標】(平成19年度からの10年目標)

1. がんによる志望者の減少(75歳未満の年齢調整死亡率の20%減少)
2. 全てのがん患者とその家族の苦痛の軽減と療養生活の質の維持向上
3. がんになっても安心して暮らせる社会の構築

・・・次号では分野別施策などを紹介します・・・



ガン(生活習慣病)からの回復を望むあなたの会

がん(生活習慣病)からの回復の療法(メソッド)の学習や啓蒙活動を行っています。

月1回定例会を開催し、がん及び生活習慣病の患者さんで身体の免疫力を高めて病気を克服したい人、15名で活動しています。

会誌も発行しています。(月1回)

代表者は関口さんです。

がん連協に
新しい仲間が
増えました



群馬大学重粒子線医学センター「友の会」

主な活動は、情報交換や会員の親睦、重粒子線治療への保険適用の運動を行っています。

設立は平成23年11月で、現在、経験者36名が入会しています。

会誌も随時発行しています。

代表者は加藤さんです。

※各会活動についてはこれから詳しくうかがいます。

・・・編集後記&お礼のことは・・・

この度、5年3ヵ月携わったがん連協事務局を離れることになりました。設立当初から皆さんには多大なるご支援、ご協力をいただき、感謝申し上げます。各団体で積み上げてきた活動が横にも広がり、医療従事者の方や行政の皆さんと共に群馬県内のがん医療向上に取り組む過程のお手伝いができたことをありがたく思っています。交流茶話会やがん征圧キャンペーン、手作りのがん患者ミーティングなど充実した行事のひとつひとつが楽しい思い出となりました。働きながらがんを治療すること、緩和ケア、在宅医療の充実などこれから国や県を挙げて多くの課題を解決しなければならないでしょう。この群馬県がん患者団体連絡協議会の活動がますます活発になることをお祈りし、後任の岩崎保健師にバトンタッチいたします。今後ともよろしくお祈りします。 編集担当 荒木 美保

【事務局】

〒371-0005

群馬県前橋市堀之下町16-1 群馬県健康づくり財団 総務部内 電話 027-269-7811

